

第1回 第7次川越町総合計画後期基本計画 総合計画審議会

日 時：令和6年12月13日（金）午後3時から

場 所：川越町役場4階 全員協議会室

出席者：大塚俊幸（会長）、加藤志保子（副会長）、寺本清春、杉本雅照、早川茂樹、
水谷俊治、川村智子、石川栄治、伊井雅春、川村泰代、三村宗一、高柳初、
伊藤天、橋本鉄二、小川剛、先浦宏紀（敬称略）
城田町長、事務局（吉野課長、寺本、竹尾）
地域問題研究所（杉戸、川口）

議 事

1. 委嘱状交付
2. 町長あいさつ
3. 各委員自己紹介
4. 会長・副会長の選出
5. 諮問について
6. 議事
 - 1) 第7次川越町総合計画後期基本計画の策定について
 - ・策定方針について
 - ・スケジュールについて
 - 2) 将来人口推計について
7. その他

《議事要旨》

開 会

事務局（寺本）

- ・只今より第1回川越町総合計画審議会を始める。
- ・川越町総合計画審議会規則第6条第2項の規定で、委員の過半数以上の出席が必要となるが、本日は委員総数17名のうち16名が出席しているため、本審議会が成立することを報告する。

1. 委嘱状交付

事務局（寺本）

- ・町長より川越町総合計画審議会委員の委嘱状を交付させていただく。

城田町長

（名簿順で名前を読み上げ、委嘱状を渡す。）

事務局（寺本）

- ・委嘱状には、委嘱期間が本日より、令和8年3月31日までとなっているが、諮問にかかる事務が終了した時点を、期間満了とさせていただく。

2. 町長あいさつ

城田町長

- ・本日は第1回川越町総合計画審議会に集まっていただきありがとうございます。
- ・川越町では、これまで、町の最上位計画である「第7次川越町総合計画」に沿って、まちづくりを進めてきた。
- ・総合計画では、まちづくりの基本理念を「笑顔がつながるまちづくり」、「人と地域とつながるまちづくり」、「未来につながるまちづくり」の3つとし、まちの将来像を「つながる笑顔 ず〜〜と暮らしたい町 かわごえ」としている。
- ・現計画策定後、間もなく、中間年次を迎えることから、それぞれの施策、事業の評価・検証を行うとともに、社会情勢の変化や新たな住民ニーズを総合計画に反映させるため、後期基本計画として見直し、策定するものである。
- ・活気があり、誰もが安全・安心に暮らせ、住みやすさを実感できる「ず〜〜と暮らしたいまち」を目指し、住民意識調査や活動団体へのヒアリング、パブリックコメントやワークショップ開催など、住民の皆さんの声を伺いながら、まちづくりを進めていきたいと考えている。
- ・本日お集まりの皆様には、長期間にわたり審議をしていただくことになるが、第7次川越町総合計画後期基本計画の策定に向け、貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

3. 各委員自己紹介

事務局（寺本）

- ・初めて顔を合わせる人もいるので、各委員一人ずつの自己紹介をお願いしたい。
（名簿順に各自自己紹介、事務局、地域問題研究所の紹介）

4. 会長・副会長選出

事務局（寺本）

- ・次に会長・副会長の選出を行う。
- ・会長・副会長については、川越町総合計画審議会規則第5条第1項の規定により、会長・副会長をそれぞれ1名置くこととなっている。また、同条第2項により、委員の互選により選出するものとなっているが、選出に関しご意見はあるか。

伊井委員

- ・提案としては、審議会の会長に中部大学の塚委員を推薦させていただきたい。
- ・審議会の会長は、各委員の意見を反映させていくため、審議会の議事進行に加え、各委員の意見の整理、集約していく役割が必要である。
- ・塚委員は、現計画策定時においても、会長として、審議会全体を見ながら意見集約にご尽力され、実績や経験からも適任と思う。
- ・副会長については、同じく現計画の策定時の審議会において、副会長を務められた、社会

福祉協議会会長の加藤委員にお願いしてはどうかと思うが、いかがか。

《委員から異議なしの声》

事務局（寺本）

- ・異議なしの声をいただいたので、会長に大塚委員、副会長に加藤委員にお願いしたいと思う。
- ・皆様の拍手を持って採決をしたい。賛成の方は拍手をお願いする。
（拍手多数）
- ・会長は大塚委員、副会長は加藤委員と決定させていただく。

5. 諮問について

事務局（寺本）

- ・審議会委員の皆さまに、第7次川越町総合計画後期基本計画のご審議をしていただくにあたり、城田町長より審議会会長へ諮問をさせていただく。

城田町長

- ・川越町総合計画条例第5条の規定に基づき、第7次川越町総合計画後期基本計画（案）について貴審議会に諮問する。

6. 議事

1) 第7次川越町総合計画の策定について

- ・策定方針について
- ・スケジュールについて

大塚会長

- ・会長に指名をいただいた大塚です。
- ・本計画は行政計画の最上位計画で、本計画に基づき部門別の計画を作り、施策・事業が進められていくものであり、あらゆる分野の内容が盛り込まれている。
- ・事務局から出された案を審議するだけでなく、いろいろな観点からご意見をいただき、皆さまで計画を作っていくという気持ちで参画いただきたい。
- ・計画を作って終わりではなく、きちんと実行していくためにも、担い手としてそれぞれの立場でご協力いただきたい。

加藤副会長

- ・大塚会長のもと、委員の皆さまのご協力を得て、計画策定がうまくいくよう頑張りたい。ご協力をお願いしたい。

大塚会長

- ・議事1の「第7次川越町総合計画後期基本計画の策定について」事務局より説明をいただきたい。

事務局（寺本）

- ・資料1（第7次川越町総合計画後期基本計画 策定方針）及び資料2（第7次川越町総合計画後期基本計画 策定スケジュール）に沿って、一括して説明。

大塚会長

- ・策定方針及びスケジュールについて何か質問はあるか。

早川委員

- ・住民意識調査の対象者はどのように抽出を行っているのか。

事務局（寺本）

- ・詳細は次回説明させていただくが、抽出については川越町にお住まいの方から無作為に抽出して発送させていただいた。

早川委員

- ・主要団体や住民グループのヒアリングについても無作為抽出で行うのか。

事務局（寺本）

- ・現行の計画書に前回対象となった団体を記載しているが、これらの団体等の方すべてにアンケートを送り、ヒアリングに協力していただける団体等については、別途ヒアリングを実施させていただく。

早川委員

- ・前回のやり方を踏襲するのは理解したが、LINE などを通じ、幅広い方にアンケートをお願いすることなども検討いただきたい。

大塚会長

- ・いろいろな方法で行うことで、幅広い層に意見を求めるられるので、他の手法も検討してはいかがか。

早川委員

- ・これまでの住民意識調査の回収率は50%近くとなっているが、もっと手段を広げて情報を取っても良いのではないかと思う。

事務局（寺本）

- ・住民意識調査の手法については次回以降参考にさせていただく。
- ・今回からインターネットでの調査を実施しており、比較的若い層からも意見を得られた。今後も幅広く意見を取れるように努めていきたい。
- ・今後、若者を対象とした魅力のあるまちづくりについてのワークショップを開催したいと考えている。

大塚会長

- ・現行の計画書に記載されている団体以外にも新しく設立された団体等にヒアリングを行う予定はあるか。

事務局（寺本）

- ・新しい団体も含めて、所管課で把握している団体についてはすべてアンケートを発送する予定である。

2) 将来人口推計について

事務局（吉野課長）

- ・資料3（将来人口推計）に沿って説明。

大塚会長

- ・将来人口推計についてということですが、総合計画策定時から5年経って、改めて推計したところ、大きく異なる結果ではないということで16,500人の目標を維持していくということですが、これについてご質問等はございますか。

《委員からの質疑なし》

大塚会長

- ・将来人口の推計値については現行計画の目標を踏襲するというので今後の計画策定を進めていただきたい。

大塚会長

- ・第2回以降は計画策定が進み、それに沿った議事となるため、早い段階で皆さんの考えていること、ご意見をお伺いして、計画に反映させていきたい。
- ・今回の見直しは、基本構想は変わらないが、後期基本計画は、時代の変化、新しい動き、想定していなかったことなど、これから重点的にやっていかないといけないこと、取り入れる必要がある内容について、ご意見等伺いたい。
- ・日頃の活動のなかで抱えている問題など、どのようなことに積極的に取り組んでいくべきだと思うか。

寺本委員

- ・川越町全体として、他市町より高齢化が進んでいないこと、2040年になれば、出生数、生産年齢人口が減少し、役場に優秀な人材が集まるかどうかわからなくなってくるため、行政の仕事も含めて、デジタル化・DX化、ワンストップ環境を整えていくべきではないか。
- ・行政だけではなく町全体で取り組んでいく必要があり、マイナンバー等を活用し、若い世代が利活用できるように環境を整備していくことを目指していただきたい。

高柳委員

- ・仕事柄、日々AIのことを調べている。AI進化はすさまじく、今年1月にできなかったことが、今はできるようになっている。AI・デジタルデータの取り組みなどにより、住民が豊かに、便利になるよう計画に盛り込んでいくのが良いのではないか。

大塚会長

- ・デジタル化、AIの利活用など便利に、豊かに生活ができるように、種まきをする時期ではないか、という意見であるが、他にいかがか。

水谷委員

- ・各地区の役員などの高齢化が進んでいて、若い人を引き上げていくことも難しく、なかなか取り組みづらいところもあると思う。
- ・役員交代もままならない状況であり、若い人たちが参画できるやすい環境を整えていくこ

とが大事だと考える。

大塚会長

- ・新しい人が入ってくることで、元々あるコミュニティから新たなコミュニティの形成に繋がるよう考えていく必要がある。

小川委員

- ・生産業でもAIやRPAが便利であり、有効だが、それを利用できるよう基盤を整える必要がある。技術の利活用の方法を伝えていく人、教える人の育成が必要だと思っている。

大塚会長

- ・新しい技術を取り入れて使いこなせる人材の育成が必要ではないか。

伊藤委員

- ・新しい視野のカーボンニュートラルということで、電気自動車、電動バス等を利用する方向性は考えているか。他の地域は少しずつそういったものを導入していると聞く。

寺本委員

- ・ガソリン車から電気自動車への転換は容易ではあるが、生活圈やまちの狭さもあり、自動化という面では難しい。
- ・現在は少しずつステップアップしている段階である。電気自動車は納入まで2～3年という時間がかかることもあり代替のディーゼル車を利用している状態である。

早川委員

- ・全国的にも川越町でも不登校が増加しており、中学生で30人以上いるよう。多面的に取り組み、社会との接点を増やしているが、誰一人取り残されないよう行政にも計画に盛り込むことで取り組んでいってもらいたい。

寺本委員

- ・地区役員に若い人が入ってくることはなかなか難しいが、夏祭りなどがある地区は、ネットワークが割としっかりしていると感じている。総合計画の中でも地域の文化や伝統の祭り等を後世に伝えていく体制づくりに取り組み、コミュニティを形成してくべきではないか。

高柳委員

- ・以前、育成会の会長をやっていて、翌年廃品回収の手伝いで参加をした。役員になることは、避けられてるが、地域の役に立ちたいと思っている人はいるはずなので、気軽に参加できるボランティアなどの裾野を広げられないかと思う。

伊藤委員

- ・介護、医療へのAI利活用できるシステムがあるといいと思う。現場では介護を受ける人も増えており、時間の延長や休日に介護を受けるような仕組みづくりはできないか。

事務局（吉野課長）

- ・個々の事業を考えるのではなく、町の方針として総合計画という大枠づくりを行う。それに基づいて行政側でも実施計画を作っていくが、個々の事業についてはそこで決めていく。

- ・介護職の不足等については全国的にも問題となっており、行政として何ができるかという考え方を計画に取り入れていきたい。各課ではそこから事業を検討していく。

大塚会長

- ・具体的な意見の中から大枠づくりを行うことを目指したい。
- ・デジタル化やA I利用での利便性向上、そのための人材育成、教育・介護分野等の問題の深刻化、その中で地域社会をどのように維持し、地域づくりを進めていくか、といった内容を基本計画に盛り込んでいくというまとめが、今後の方針となる。

大塚会長

- ・他に意見もないようなので、本日の議事は終了したい。

7. その他

事務局（寺本）

- ・次回第2回の審議会では、住民意識調査の結果、施策・事業の実績評価のご報告、ご審議を予定している。
- ・開催時期は来年2月下旬から3月上旬頃を予定しているので、よろしく願いしたい。
- ・審議会の進行等も含め、不明点があれば事務局に連絡いただきたい。

事務局（吉野課長）

- ・貴重なご意見を賜わりありがとうございました。
- ・今後計画策定を進めるにあたり、各課に意見を伝え、どのように組み入れてくか検討したい。
- ・今後の審議会の日程については、会長、副会長と相談し、調整させていただき開催したいのでご理解いただきたい。

以上